



TYO 7231

新中期経営計画

(2019-2021年度)

Growth & Change 2021

説明会資料

Growth & Change 2018 の成果と課題

REVIEW

計画どおり施策を実施した結果、売上高は計画値を達成、ROE 5%以上はクリアするも、利益については課題が残った

基本方針

持続的な成長と
働きがいのある会社への変革

— ROE 5%以上を達成 —

重点施策

- 1 事業の持続的成長
- 2 社会からの信頼と共感
- 3 企業基盤の強化

	2018年度 目 標	2018年度 実 績
売 上 高	2,500 億円	2,862 億円
営 業 利 益	140 億円	75 億円
経 常 利 益	135 億円	94 億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	85 億円	71 億円
営 業 利 益 率	5.6 %	2.6 %
R O E	7.7 %	6.5 %
R O A	6.1 %	3.2 %
D / E レ シ オ	0.60	0.72

営業利益増減要因（2018年度計画対2018年度実績）



回復基調で推移した建設機械、鉱山機械需要の着実な捕捉と自動車用ホイール事業でのM&Aにより販売拡大したものの、製鋼用副資材・エネルギー価格の上昇や製鋼設備トラブル等の一過性の影響があり、計画対比65億円の未達

期間為替	2018年度 為替前提	2018年度 実績
米ドル	110円	111円
中国元	17円	17円

(単位：億円)
■ 増益要因
■ 減益要因



○：計画どおり実施 ☆：追加実施

1. 事業の持続的成長

①グローバルでのプレゼンス向上と事業拡大

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| ☆ スチールホイール事業のグローバル展開 | グローバル供給体制完成+リンテックス(株)完全子会社化 |
| ☆ アルミホイール事業の基盤強化 | 旭テック(株)の完全子会社化、グローバル供給体制基盤構築 |
| ○ 建機用足回り部品 | 国内外の履帯組立ライン新設稼働（インドネシア、豊橋製造所） |
| ○ ファスナー | メキシコ生産拠点の新設稼働、ベトナム生産拠点の能力増強 |

②独自技術を活かした製品群の拡充

- | | |
|------|---|
| ○ 鉄鋼 | 独自性の高い異形形鋼の開発・拡販
異形鉄筋の新製品TACoilを市場投入 |
|------|---|

③技術イノベーションによる新事業への挑戦

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ☆ 合成マイカ | マイカ生産ラインの能力増強、表面処理マイカ開発 |
| ○ クローラーロボット | 前後左右移動クローラー機構の開発・実用化 |

2. 社会からの信頼と共感

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ○ リスクマネジメントの推進 | 海外子会社のリスクマネジメント体制を整備 |
| ○ コーポレートガバナンスの強化 | 取締役会の独立性強化、業績連動型株式報酬を導入 |
| ○ 株主還元の充実 | 方針通り配当、自己株式取得実施 |

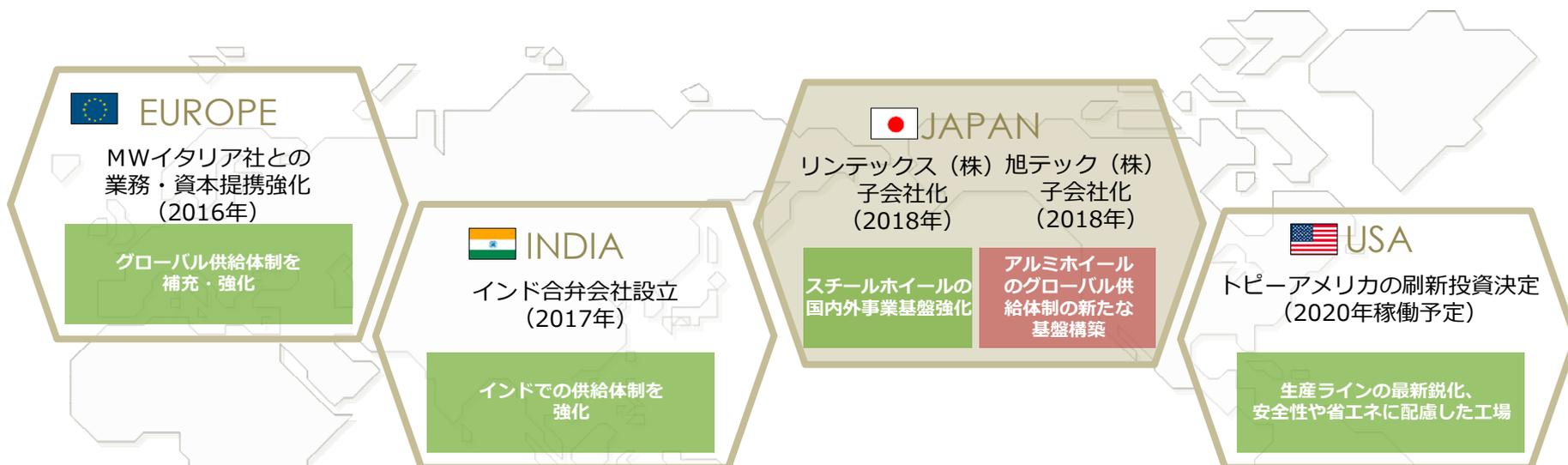
3. 企業基盤の強化

- | | |
|--|-------------------|
| ○ 基幹業務システム刷新による業務基盤強化 | ERPシステム導入 |
| ○ 「働きがい向上委員会」活動の推進
企業風土ならびに意識と行動の改革 | ESポイント向上、若手離職率の低減 |

1. 事業の持続的成長

① グローバルでのプレゼンス向上と事業拡大

方針 世界自動車市場での製品供給体制を深化させ販売拡大



成果

国内・海外 + **スチール**・**アルミ**ホイールともに供給体制拡充

課題

シナジー効果発現、海外収益力拡大、**アルミ**ホイール事業の強化

1. 事業の持続的成長

① グローバルでのプレゼンス向上と事業拡大

方針 国内外の拠点を拡充しグローバルTOPメーカーを目指す

INDONESIA

東南アジアでのプレゼンス向上
インドネシア 履帯組立ライン新設（2018年）



品揃えの拡充、供給能力強化、
デリバリー対応力の向上による需要捕捉

JAPAN

国内供給体制強化
豊橋 新履帯組立工場（2019年）



豊橋製造所における素材から製品までの
一貫生産実現による
物流コスト低減とデリバリー対応力の向上

成果

東南アジアと国内の履帯供給体制を強化

課題

実行施策の効果発現、成長市場への対応

1. 事業の持続的成長

② 独自技術を生かした製品群の拡充

方針 異形形鋼技術・加工技術で時代のニーズに合った製品開発

トンネル用 セグメント部材

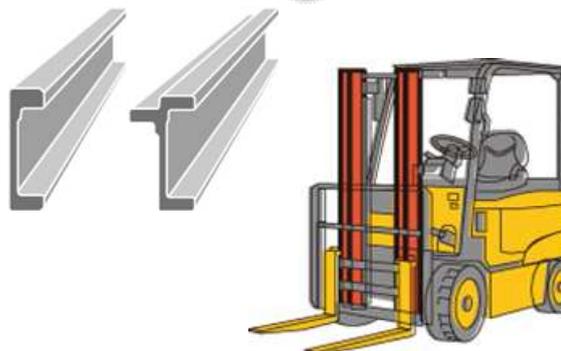
東京外かく環状道路向け
その他の物件を受注

シールドトンネルの土止め壁になるパネル



フォークリフト用 マストレール

海外向け新規顧客獲得



鉄筋コンクリート用 棒鋼

新製品TACoilの市場投入
(2018年)



成果

独自製品による顧客開拓が進展

課題

戦略製品（異形形鋼・TACoil等）の国内外での拡販

1. 事業の持続的成長

③ 技術イノベーションによる新事業への挑戦

方針 独自技術により合成マイカNo.1企業を目指す

化粧品マイカ

化粧品産業技術展等の展示会や
ワークショップにて拡販



工業用マイカ

ニーズに合致した
豊富な製品バリエーション

ガスバリア
フィルム



- 環境対策（排水処理装置）
- 工業用水の有効利用と使用量の削減（純水装置）



高アスペクト比
(長径と厚みの比：相対的に薄い)
の板状結晶

低不純物で

純白・透明感ある合成マイカ

成果

製造ラインのリプレースにより生産能力を増強

課題

成長する化粧品需要を確実に捕捉

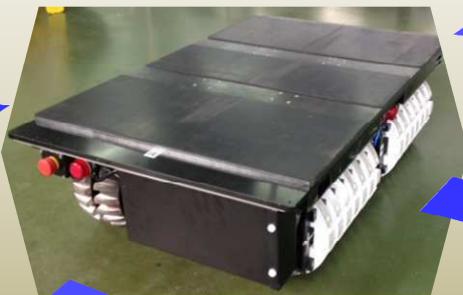
1. 事業の持続的成長

③ 技術イノベーションによる新事業への挑戦

方針 革新的クローラー技術で実用ロボットNo.1を目指す

革新的移動機構の実用化

当社独自の前後左右移動クローラー機構のAGV（無人搬送台車）を開発、実用化



物流・農業分野への進出

物流



農業



成果

プロトタイプ納入を完了

課題

本格販売へ移行

Growth & Change 2021 について

OVERVIEW

基本方針

G&Cの完遂と 次なる成長に向けて

重点テーマ

- 1 収益力向上
- 2 グループシナジーの発現
- 3 戦略製品の拡充
- 4 イノベーションへの挑戦
- 5 さらなる企業基盤の強化

	2021年度目標
売上高	3,200 億円
営業利益	160 億円
経常利益	165 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	110 億円
営業利益率	5.0 %
R O E	8.5 %
R O A	5.7 %
D / E レ シ オ	0.52

G&Cの最終ステージ 収益力向上に軸足を置いた未来への足固め

STAGE 1 (2012-2015年)
Growth & Change 2015

STAGE 2 (2016-2018年)
Growth & Change 2018

STAGE 3 (2019-2021年)
Growth & Change 2021

2021年
創立100周年

グローバルでの“成長”と
高収益体質への“変革”

海外事業の拡充
(量的成長)

国内事業基盤の強化
(質的変革)

経営の高度化

持続的な成長と
働きがいのある会社への変革

事業の持続的成長

社会からの信頼と共感

企業基盤の強化

G&Cの完遂と
次なる成長に向けて

収益力向上

グループシナジー
の発現

戦略製品の拡充

イノベーション
への挑戦

さらなる
企業基盤の強化

マクロ環境

海外経済

- 米中対立の長期化
- 新興国の成長、中国の緩やかな減速

日本経済

- 東京五輪後の一時的な景気減速
- 少子高齢化進展による需要の低迷
- 少人化投資や効率化投資の増加
- 自動車・建機車両の生産台数減少

社会・環境

- 労働人口減少⇒女性・高齢者活躍必須
- 設備の自動化・レススキル化
- 各環境負荷対応
- AI、IoTの利用推進、業務合理化

当社の事業環境

鉄鋼事業

- 国内は2023年までは維持、長期的には縮小
- アジア新興国の成長、中国の緩やかな減速
- 海外市場のキャッチアップが課題

自動車部品事業

- 内需縮小、グローバル需要伸張
- CASE、MaaS進展、環境規制強化
- 車両軽量化ニーズ拡大、意匠性向上によるアルミホイール装着率増加への対応

建機部品事業

- 国内は2020年以降需要減少
- 中国、アジア、北米需要減退
- インドは年率10%超の需要増加と予想

新事業 合成マイカ クローラー ロボット

- 化粧品業界は国内外継続的に増加トレンド
- 労働人口不足、第四次産業革命による自動化推進により、ロボット市場は急激に伸張

当社の強み

グローバル展開

シェア・特色ある地位

One-piece Cycle

高付加価値製品

技術力・開発力

経験・ノウハウを育み
伝承する企業文化・経営方針

今後の課題

- 継続的マーケティング・製品開発による拡販
- 海外需要の捕捉・拡販・地域ごとの成長

- 拠点統合集約による収益力向上
- 競合との差別化

- 自社材使用の優位性・競争力向上
- 各事業セグメント協働による製品開発

- 顧客ニーズに合致した製品開発
- 合理化投資による効果発現

- 継続的な技術開発による独自性維持・向上
- 製販連携した製品開発

- 顧客ニーズに合わせて、製販連携した製品開発
- 中長期的な視点での継続的な技術開発・深化

営業利益(質)を重点とした収益力向上を推進

施策

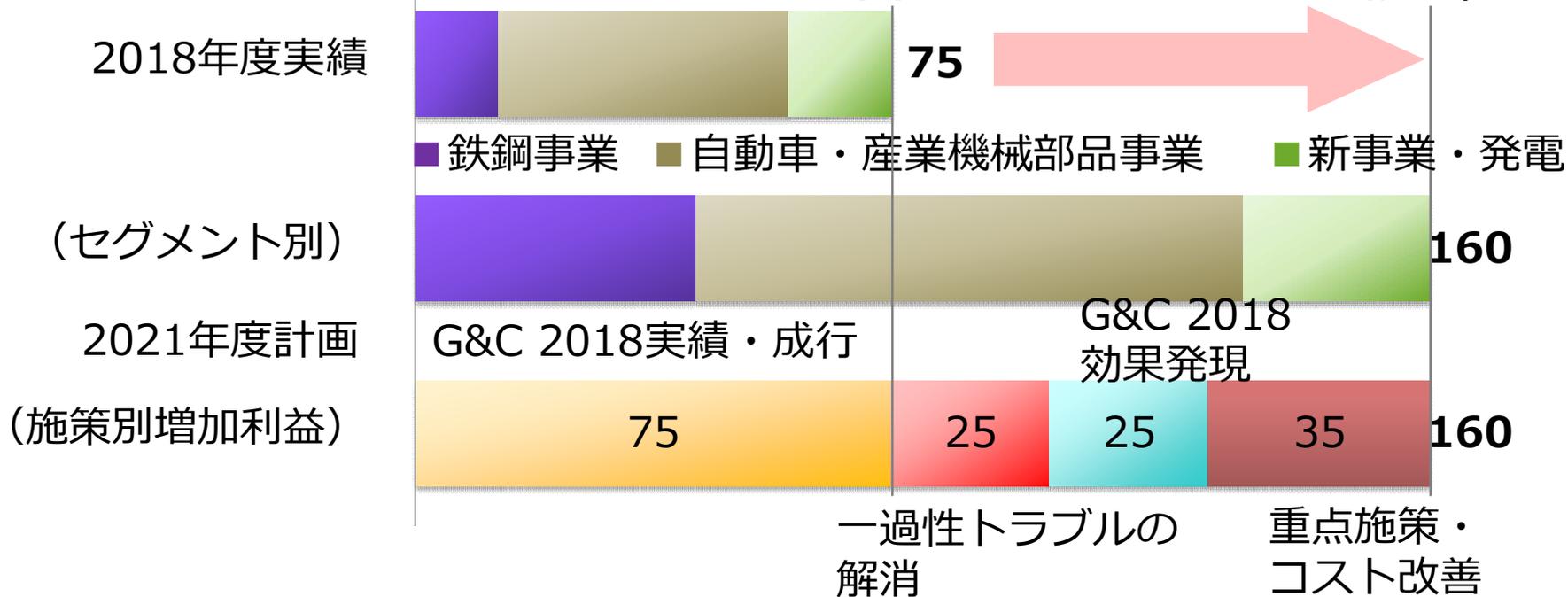
前中計における成長施策の
効果を確実に発現

お客様のニーズとグループの
強み弱みを踏まえた重点施策

バリューチェーン全体にわたる
コスト改善

営業利益合計

(億円)



リンテックス(株)、旭テック(株)とのシナジー最大化



成長を支える戦略製品群の比率50%を狙う

施策

独自技術による
差別化製品の拡充

特色ある地位を築いていける
高付加価値品の拡充

拡大するグローバル市場での
製品群の拡充

鉄鋼

- ▶ TACoilの積極的な拡販
- ▶ 圧延生産能力拡大に伴う異形形鋼の受注増

自動車用ホイール

- ▶ 軽量化技術・工法を駆使した差別化製品の拡販

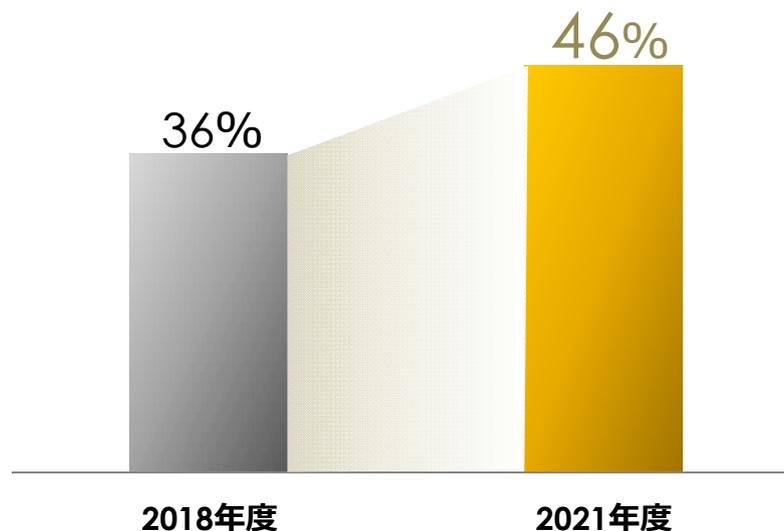
建機用足回り部品・SGOR

- ▶ 補給品市場向け拡販

新事業

- ▶ 第4の成長の柱：化粧品用マイカ及びクローラロボット量産体制構築から量産開始へ

50%に挑戦



未来を創るイノベーションへの投資

技術力強化

～新技術、新製品への弛まぬ努力とチャレンジ～

人財強化

～次の100年を築ける人づくり～

イノベーション投資 2021年度 **10億円**増額

技術力

顧客ニーズ
収集力向上
⇒高付加価値
品の開発

既存保有
技術の深化

スマート
ファクトリー
レススキル化

環境対応
ESG意識向上

研究開発費を増額し、未来へ
挑戦するための技術開発力を強化

モノづくり強化に向けた
生産現場のIoT活用を推進

働きがい向上活動やダイバーシティ
推進による創造的な職場づくり

人財

卓越技能者
技術者の育成

グローバル人財
IE人財の育成

人手不足への
対応・
人財の多様化

業務改革の推進

重点テーマ5 さらなる企業基盤の強化

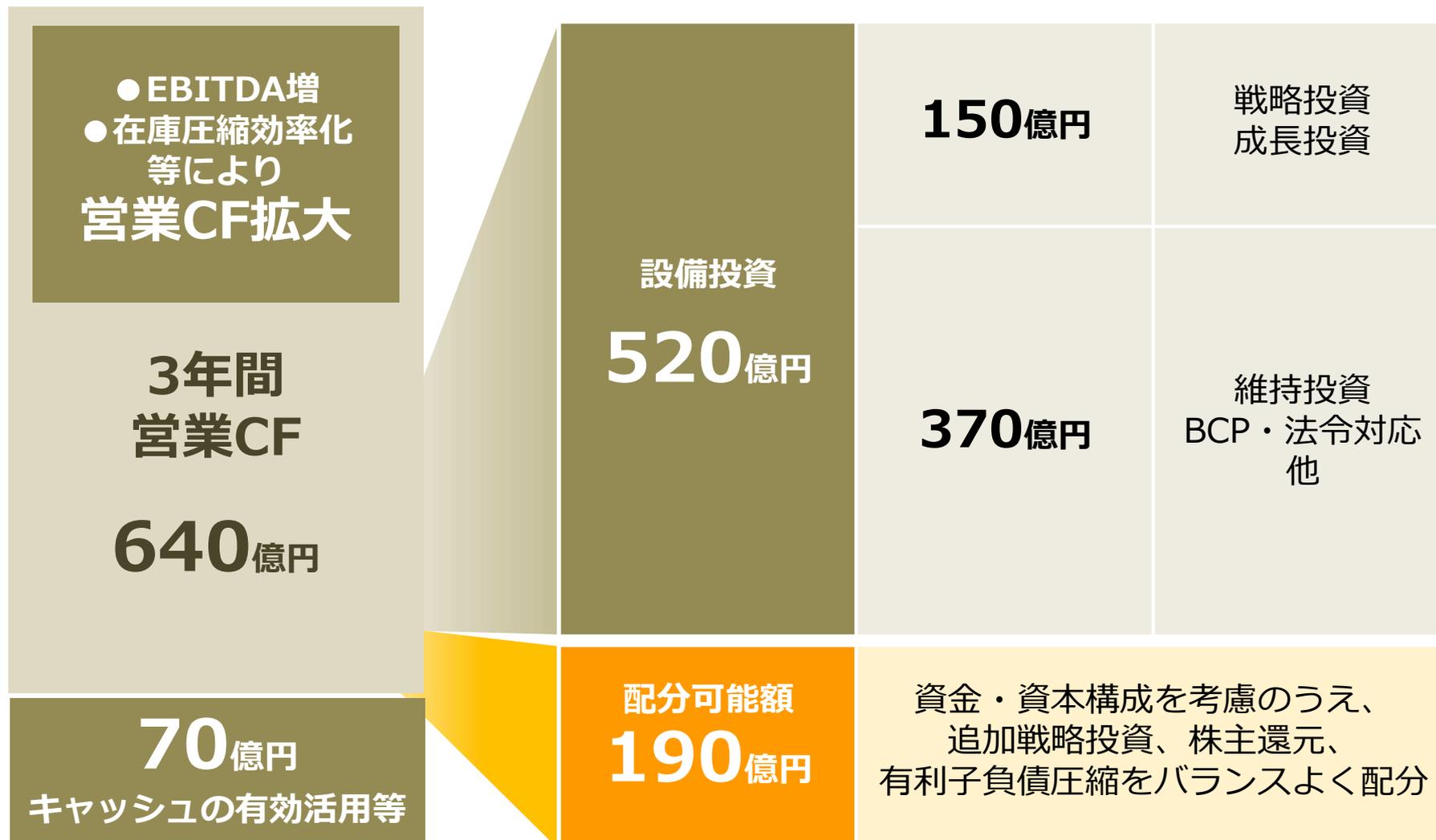
<グループ企業理念>

トピー工業グループの存続と発展を通じて、広く社会の公器としての責務を果たし、内外の信頼を得る

E 環境	S 社会	G ガバナンス	
環境にやさしい、配慮した 生産工場・拠点でのモノづくり	社会に貢献する製品の提供と 地域貢献活動		リスクの未然防止と最小化を 目指したガバナンス体制強化
環境活動推進体制（省エネ等）	小集団活動	ダイバーシティ	ガバナンスの強化
サプライチェーンマネジメント	コミュニケーション 促進委員会	グローバル人材の 採用・育成	新たなBCP体制の 構築
			グローバル経営 コンプライアンス

	環境・社会の課題	トピー工業のアプローチ	
		事業機会	リスク・規制への対応
E 環境	地球温暖化の進行 水・資源の枯渇 大気汚染	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">環境配慮型製品の開発</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">リサイクル事業の展開</div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">リサイクリング</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地球温暖化への取り組み</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">化学物質管理</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">廃棄物削減への取り組み</div>
S 社会	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">熟練工の不足</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">各国の法規制強化</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地域の経済発展</div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">作業効率の良い製品</div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">責任ある調達への推進</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">安全・安心な製品の供給（品質保証）</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地域における雇用創出</div>

キャッシュ・フローの配分（G&C 2021期間）





TOPY INDUSTRIES, LIMITED

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。